

伴侶動物学詳論 (2単位)

担当者氏名 小川博・土田あさみ・増田宏司

◆学習・教育目標

人とともに生活する伴侶動物について、そのよりよき共生や活用を図ることは重要である。そこで本科目ではその基礎となるイヌ、ネコを中心とした遺伝、行動、飼養管理、衛生管理などの関連研究分野の知識について、最近の関連研究の進展等科学的検証に基づいた授業を実施し、伴侶動物の行動管理やよりよき共生関係の構築に役立てる。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

伴侶動物 動物遺伝 動物行動 動物管理衛生

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	概論	動物の伴侶動物としての可能性について	さまざまな動物の伴侶動物としての可能性を理解し、伴侶動物の行動の把握や、しつけ、あるいは訓練法との関連を理解する。 伴侶動物の有する遺伝的特性とその関連研究の進展について理解する。 衛生的知識等を把握し、伴侶動物の飼養管理技術との関連を理解する。
2	伴侶動物の行動 (1)	伴侶動物の行動特性	
3	伴侶動物の行動 (2)	伴侶動物の個体認知	
4	伴侶動物の行動 (3)	犬および猫の問題行動と治療	
5	伴侶動物の行動 (4)	伴侶動物の行動研究法	
6	伴侶動物の遺伝 (1)	動物のゲノム解析研究	
7	伴侶動物の遺伝 (2)	DNA多型の検出と利用	
8	伴侶動物の遺伝 (3)	伴侶動物の行動遺伝学	
9	伴侶動物の飼養管理 (1)	伴侶動物の飼養技術	
10	伴侶動物の飼養管理 (2)	伴侶動物の健康管理 1	
11	伴侶動物の飼養管理 (3)	伴侶動物の健康管理 2	
12	伴侶動物の衛生管理 (1)	衛生学 1	
13	伴侶動物の衛生管理 (2)	衛生学	
14	伴侶動物の衛生管理 (3)	衛生管理 1	
15	伴侶動物の衛生管理 (4)	衛生管理 2	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

適宜資料を配布する。 / / ()

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

バイオセラピー学入門 (講談社) ほか、授業の中で提示する

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポートの提出や授業中の質問などにより評価する。

◆その他受講上の注意事項

